



特定非営利活動法人 東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター 会報

見守り

支え

伝えあう



私たちは、福祉・介護の仕事のゆたかさを広げる活動を推進します

発行所 特定非営利活動法人東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター

発行人：石井須美子

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目8番11号

東京YWCA会館216号室 TEL・FAX 03-6273-7134

E-Mail：info@ywca-hssc.jp ホームページ：<http://ywca-hssc.jp/>

2月7日会員向け講習会後のお茶会
色々な情報交換ができました(^o^)
最終ページでも紹介しています！



MAIN TOPICS

◆◆◆ 年次総会が開かれました ◆◆◆

今年の年次総会は2015年6月6日(土)午後1時から、東京YWCA会館で開催されました。はじめて参加される会員もあり、22名の出席でした。

私たちも2014年度で4年の歩みを続けてきました。この年度の大きな出来事は、東京都第三者評価活動の休止を決断したことでした。第三者評価事業は安定した収入を確保するために取り組んだ事業でした。勿論収入のためだけではなく、これまで私たちが大切にしてきた利用者の目線で評価するようにしたいと考えて取り組みました。しかし、私たちの力不足と、評価機関をめぐる環境が私たちのような弱小で、手間暇をかけた評価を進めることの困難が重なり、年度内には一件の申し込みもなく契約をすることができませんでした。その結果評価機関としての認証を取り消されることになりました。認証は何時でも再申請はできますが、再び第三者評価事業を実施するかどうかは次年度以降の課題となりました。

その他の事業報告及び決算は承認されました。今期の決算は第三者評価事業の収入を得

ることができませんでしたが、講師派遣事業が順調に推移したことで、黒字で決算することができました。講師派遣事業に携わっている方々のご協力に感謝します。

事業計画は講師派遣事業を中心に、実習指導者講習会の開催や会員拡大への取り組みなどが挙げられました。それに見合う予算もほぼ前年度を踏襲するものとなりました。

この総会では役員の改選期に当たります。初期のころから理事・監事を担って下さった方々ですが、その中の本多敏子さんはお仕事の都合でラオスにおられるので、今期で理事の任を終了いたしました。また、遠藤理事は辞意を申し出ていましたので、議場に諮りました。

本多理事及び遠藤理事を除いた理事・監事の再任は承認されました。遠藤理事は現在代表理事でもあるので、辞任は承認されず、留任となりました。

5年目になるセンターの事業は会員の支援と協力で存在感のある事業体として推移していきたいと願っています。

代表理事 遠藤 久江

1. 講師派遣事業

NPOの講師派遣研修は、オーダーメイド研修により法人・事業所とともに人材を育成することを目指している。研修の特徴は、一方的な講義に終わらない、双方向のコミュニケーションと、参加者一人一人の自己啓発システム（SDS）を進めていく。その内容は、①人権尊重に基づいた実践者を育成する。②ワーク（グループディスカッションなど）を活用しチーム力を高め、研修での気づきや学びを実践に活かす力を育てる。③振り返りシートなど独自のシステムでアクティブラーニング（能動的学習）を促進する。

この様な考えのもと進めてきた講師派遣研修は、多くの事業所、法人から信頼され、2014年度も順調に展開することが出来た。

2014年度講師派遣研修実施の法人、事業所研修責任者（常務理事・施設長）にアンケートをお願いした結果、ほとんどの方から満足との回答を得た。職員一人ひとりの変化はもとより、法人及び、事業所内の意識の変化が少しずつ現れている状況を感じる事が出来た。

今後の課題は、1) 研修の質の向上をめざし、研修プログラムの開発と研修内容の充実。

2) コーディネートの働きを検証し、コーディネート機能を向上とコーディネータの育成。

3) 講師との連携の強化と同時に、講師の発掘と講師の育成。



2. 講座・講習

介護福祉士実習指導者講習会 年1回開催

東京YWCA専門学校の福祉人材教育の柱となっていた実習指導に対する理念や教育方法を活かした講習会として、継続していくことが重要と位置づけ取り組んできた。新カリキュラムとなり、学生の現状に合った講習会とするために、現在介護福祉士養成に携わっている講師に加わって頂き、現状の理解を進めながら実施している。

3. 東京都福祉サービス第三者評価事業

我々の目指す評価活動は、社会福祉の現場の経験を持つ卒業生と共に、利用者・家族の視点、働く職員の視点を大切に評価を行うことであった。それぞれの事業所の強みを生かした取り組みを推進できるように、課題改善の方向性を示し、利用者サービスの仕組みを整え、職員の能力が発揮されやすい環境に改善し、経営面にも貢献することを考えていた。評価者となる面々は利用者の生活を知り、職員や経営層の状況を知っている者たちであるからこそ、他の評価機関とは違った評価活動を進めることが出来ると考えていた。しかし、より質の高い評価活動を進めるためにはOJTなどの研修体制を提供することが重要であるが、そのために必要な環境を整えることが出来なかったことや、事務局体制の脆弱さなど、評価機関としての力量が不足していたことが今回休止の原因となった。

今後の展望としては、NPOの事業が拡大していく中で、第三者評価事業を専門に担う職員を確保し、評価者育成の仕組みを工夫し、事業展開できる状況の見通しが出てきた時点で、理事会において再開の可能性を探っていくこととする。



4. 福祉啓発事業

第1回会員向け講習会

テーマ：いつまでも安全においしく食べるために必要な事～「食べるメカニズム」を実感～

会員に対して、これまでNPOとして直接貢献することがなかったため、会員向け講習会を企画した。

介護や福祉に対する情報を発信していくことで、会員の輪を広げていくことを期待して開催した。

会員12名・非会員11名の参加 第1回目ということで、参加費を低く設定、集客数が23名であったため赤字となる。今後の課題として会費の設定を検討し、集客数を確保し、赤字を出さずに実施できるよう努めていく。

5. 会報

2014年 7月31日 第8号発行 130部

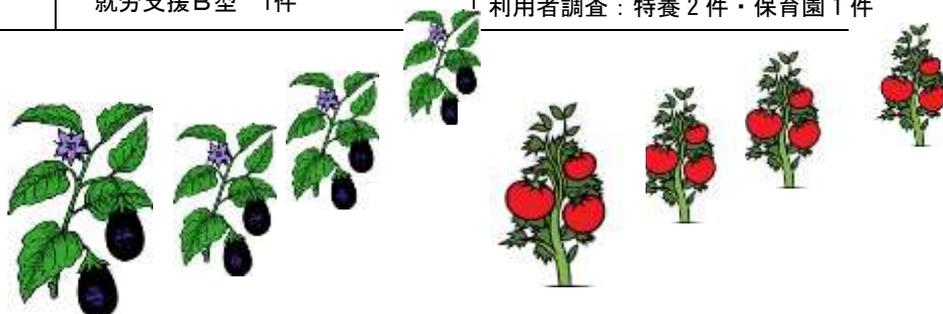
2014年 12月16日 第9号発行 150部

◆◆◆ 2015年度事業方針 ◆◆◆

2015年度も引き続き、福祉介護事業所等の人材育成のための講師派遣事業を中心として進め、2014年度講師派遣研修の課題に挙げた3項目の解決に向けて取り組みを進め、講師派遣研修の質の向上と、安定した事業展開を目指していく。また、介護福祉士実習指導者講習会も継続し開催する。更に福祉・介護について会員及び地域住民に向けての講習会の開催を通し、福祉・介護の知識の普及に努め福祉・介護に対する情報発信にも力を入れていく。今年度、NPO活動の柱の一つである福祉サービス第三者評価機関の認証が取り消されているので、今後の取り組みについて検討を進めていく。これらの活動により福祉・介護の専門性を高め、福祉事業所の人材育成に取り組み、福祉サービスの向上に寄与していく。さらに、NPOとしての活動の充実を図るために、会員の拡大に力を入れていく。これからも継続した活動を進めるため経営の安定を図り、運営の組織基盤の充実に尽力する。

◆◆◆ NPO法人東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター事業実績及び2015年事業予定 ◆◆◆

	事業内容	内訳	2013年度実績	2014年度実績	2015年度
講師派遣研修	【継続研修】 以上の研修 20時間	法人	1	4	4
		高齢者	4	2	1
		社会福祉協議会	1	1	1
	【単発研修他】 研修 1回～4回	高齢者	6	5	5
		障がい者	2	2	2
		子ども	0	1 (学童)	2
		社会福祉協議会	5	2	1
		訪日中国YWCA研修		1	
		愛恵国内研修旅行 コーディネータ	2	0	2 6月・10月実施
	講座講習	介護福祉士実習 指導者講習会	25名	15名	30名定員 1～2月
会員向け講習会		実施せず	会員：12名 非会員：11名	10月・2月 開催予定	
第三者評価		2012年 標準評価 (7件) 特養2件・短期入所2件 在宅支援センター1件 グループホーム 1件 就労支援B型 1件	2013年 標準評価 (6件) 特養2件・短期入所 1件 通所事業 2件 グループホーム 1件 利用者調査：特養2件・保育園1件		





◆◆◆ 講師派遣研修 新しい講師のご紹介 ◆◆◆

講師派遣事業は講師の先生方のお力に支えられています。

事務局は、先生方との連携を図り、効果的な研修となるよう努めてまいります。今後ともよろしくお願い致します。

昨年、今年と新しく講師に加わってくださった4人の先生方に、4つの問いに答えていただきました。



あおやぎいくこ 青柳育子先生

- Q 1 東京 YWCA ヒューマン・サービス・センターとの関係を教えてください。
- A 東京 YWCA の元総幹事である新田和子さんが私の大学院の先輩である関係で研修講師を紹介いただきました。
- Q 2 どんな研修をしていますか？
- A 今年からの参加です。施設職員研修やボランティア育成研修に参加します。
- Q 3 先生が研修の中で一番伝えたいこと、又は大事にしていることはどんなことですか？
- A よい仕事を行うには、経験を積み重ねると共に、振り返りも含めて学び続けることが大切。
- Q 4 先生のチャームポイントを教えてください。
- A 歳のわりに毛髪が多いこと（かな？美容師さんにおだてられています）



しおたに えみ 潮谷恵美先生

- Q 1 東京 YWCA ヒューマン・サービス・センターとの関係を教えてください。
- A 昨年亡くなられた窪田暁子先生の門下生です。直接先生からスパ・ベジ ョン研修の講師をするようにとお話をいただき、窪田先生のスパ・ベジ ョンを受けながら、研修を進める約束でお引き受けしました。
- Q 2 どんな研修をしていますか？
- A 社会福祉法人 主任研修 事例検討を中心としたグループスーパービジョン研修
- Q 3 先生が研修の中で一番伝えたいこと、又は大事にしていることはどんなことですか？
- A スパ・ベジ ョンにおいては、窪田先生がおっしゃっていた「主役はスーパーバイザー」ということを大事なこととしていつも土台に据えていたいと思っています。そしてそのことを研修では言葉として伝えるだけでなく、体験していただくことを踏まえて、ご自身の実践につなげていただきたいと思います。
- Q 4 先生のチャームポイントを教えてください。
- A チャームポイント、あげることはとても難しいです。あえて・・・と考えると、宇宙よりも大きなことから、星砂の粒、さらに分子構造より小さいことまで、見えること、見えないことを含めて多方面に関心を持ったり、興味を向けることができることぐらいかと。

とみざわ ゆうこ
富澤優江先生



Q 1 東京 YWCA ヒューマン・ベネフィット・センターとの関係を教えてください。

A 友人（松本啓子さん）を通じて、ご紹介いただきました。

Q 2 どんな研修をしていますか？

A ・アサーション、コミュニケーションスキル（聞く・伝える）
・性格タイプ論

Q 3 先生が研修の中で一番伝えたいこと、又は大事にしていることはどんなことですか？

A ・ひとりひとりが幸せになること。
・自分を大切にしながら周りの人にも心配りをし、愛しく思えるようになること。

Q 4 先生のチャームポイントを教えてください。

A ほとんどの犬や猫と仲良くなれること。



よしうら とおる
吉浦 輪先生

Q 1 東京 YWCA ヒューマン・ベネフィット・センターとの関係を教えてください。

A 昨年亡くなられた窪田暁子先生の門下生です。同門の小松啓先生のご紹介で研修をお引き受けすることになりました。

Q 2 どんな研修をしていますか？

A 社会福祉法人の施設長研修、リーダー研修 この2つをお引き受けしています。

Q 3 先生が研修の中で一番伝えたいこと、又は大事にしていることはどんなことですか？

A いろいろありますが、スーパービジョンの提供は社会福祉援助そのものであり、人を助け育てる行為であるという点です。

Q 4 先生のチャームポイントを教えてください。

A ?????? とくにないでしょう！（歳より若くみえるところかな？・・・(談)）



公益財団法人愛恵福祉支援財団国内研修に、同財団から委託を受け、コーディネータとして携わらせていただきました。

2015年度第1回は、6月25日、先駆的な取り組みをしている社会福祉法人章佑会やすらぎ夢工房（練馬区）（写真1）を愛恵スタッフ5名含め、参加者25名で見学しました。



（写真1）

同法人は、練馬区を中心に障害者・高齢者福祉事業を展開しており、今回見学したやすらぎ夢工房は、就労継続支援B型・生活介護・就労移行支援の通所型施設です。3年前に開所した新しい施設で、利用者が社会で自立した生活を送れるように「給食調理」「清掃」「事務」の仕事を三本柱とし、徹底した個別支援で一人一人に合った作業を提供しています。自閉症スペクトラムの人に対する包括的プログラム「TEACCH」を取り入れ、床や作業時使用する物品の色分け、作業内容が一目でわかる写真や図の掲示、また工程順に進められるように工夫し環境を整えることで適応性を上げています。30代の利用者を中心に上は80代まで、幅広い年齢層の利用者・職員が1つのチームとして仕事をこなしています。参加者のアンケートにも多かったですが、とにかく「明るく」「笑顔が多く」「さわやかな」雰囲気です。

午前中は1時間余り施設内を利用者が主役になり職員がサポートする形で案内して下さり、お昼は利用者が朝から準備して下さった手作りのおいしいランチを頂き、午後は、章佑会通所事業所統括の和田治代氏のお話を伺いました。工房の運営方針である～「輝きのある人生」を送ることができるために～

と題してお話し頂きました。

多くの事業所を持つ特性を活かし、法人内で仕事を生み出すことで利用者の仕事が途切れることがなく、コストカットにも繋がっていること。「地域に必要とされる存在」となるために努力されてきたこと。利用者を主役にするために仕事を創り出し、能力を最大限生かし、伸ばせる仕事にしていくことなど、午前中に見た利用者の方々の明るい笑顔が正に証明している取り組みについてのお話に参加者たちは引き込まれました。

参加者は様々な分野で障害者福祉に携わる方がほとんどで、アンケートからは今日学んだことをそれぞれの現場に取り入れたいという感想が多く見られました。

初めてのコーディネータで、至らない点もあったと思いますが、見学自体もコーディネータという役割を通して大変勉強になりました。愛恵スタッフの方々、見学先の施設長初め皆さまに心より感謝申し上げます。

今年度第2回目の国内研修も準備しているところです。よりよい研修となるようお手伝いしたいと思います。



色分けされたトイレ



工房内にて利用者が作ったランチをいただきました。

◆◆◆ 第1回会員向け講習会の報告 ◆◆◆

2015年2月7日、言語聴覚士の田中治子先生による「摂食・嚥下リハビリテーション」の講習会を行いました。摂食・嚥下の仕組みや誤嚥性肺炎の予防について、実際にお菓子やお茶を飲みながら体験しました。

アンケートでは、提出者全員(19名)が「役に立った」と回答されています。講習会の感想とご意見を一部ご紹介します。

◎とてもわかりやすく、体験型で本当に勉強になった。今までも同じような研修に出たことはあるが、ここまで詳しくわかりやすい研修はなかった。嚥下の体操は現場でも行っているが、今日教わったことを体操やレクにさっそく取り入れていきたいと思った。

◎Y らしくアットホームにワイワイと楽しみながら身になる深い話ができとても有意義でした。現場で感じていた疑問が何故か解決できたり、利用者への還元ができそうなことも多いのでためになりました。

◎物を飲み込む意識を初めてした。お年を召した方が食事をする大変さがよくわかった。

◎普段当たり前に行っている食事に対してどのように注意したらよいか、介助される方の気持ちも考える機会になった。

◆◆◆ フランス・スペイン・ベルギー旅行記 ◆◆◆

当NPO事務局の葛生禎子さんが今年5月と6月に旅したフランス・スペイン・ベルギーの様子をご紹介します。



☆フランス・スペイン編☆

ピレネー山脈の山並みは
美しかった。



スペイン【サン・クリメン聖堂】ピレネー山脈の麓、ボイ渓谷には初期ロマネスク様式の聖堂が数多く点在している。内部では美しいフレスコ画の再現をプロジェクトマッピングで見ることができる。

フランス【聖地ルルド】1858年、近在の農家の少女ベルナデットが聖母マリアに出会い、湧き水を掘るように告げられる。現在も多くの信者が湧水を求め、訪れている。



☆ベルギー編☆

猫祭り最高！

3年に一度、5月の第2日曜日にベルギーの小さな街「イーペル」で開催される「猫祭り」。祭り期間中は、世界中から猫好きがあつまり前夜祭から盛り上がり花火が打ち上げられ、当日はパレードが行われる。



シンボリック的存在、タキシード姿の「シーベル君」

◆◆◆ 会員交流広場 ◆◆◆

サロン ド わいわい
Salon de Y Y

会員同志の相互交流のコーナーです。同窓会の告知、サークル活動の紹介、悩み事相談など皆さんからのお便りをお待ちしています♪



研修会後に「お茶会しませんか？」の呼びかけに 15 人の仲間が集まりました！「今楽しんでいること」「困っていること・相談したいこと」「10年後ってどんな自分？」を主に、皆さんで歓談しました。現在高齢者施設・障害者施設で働いている方や、育休中の方など、様々な視点からの意見を聞くことができました！



◆◆◆ Information ◆◆◆ 会員の輪を広げて支えて下さい！

2015 年度介護福祉士実習指導者講習会のお知らせ

受付開始しました。開催は 2016 年 1 月 21 日、30 日、2 月 4 日、13 日の 4 日間
場所は駒込駅東口徒歩 2 分の愛恵ビル 3 階 B です。費用は 27,000 円。詳細はホームページ。

ご寄付いただいた方のお名前です。ありがとうございます。(2014 年 12 月～2015 年 7 月現在)

川副栄子・佐藤比和・中村道子・蛸原まゆみ・小池桂子・笹尾正乃・荻原悦子 7 名。
誠に勝手ながら、敬称と金額は省略させていただいております。

NPO 法人東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター会員のご案内

～会員になって、東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンターを支えてください。～
いつもご支援ありがとうございます。入会申し込みは事務局まで。

会費振込みをお願いいたします。

年会費

正会員 3,000 円/年 賛助会員 一口 10,000 円/年 団体会員 一口 20,000 円/年

会費振込先

(ゆうちょ銀行と東京三菱UFJ銀行の二箇所あります)

◆株式会社 ゆうちょ銀行 記号 10170 番号 80995501

◆東京三菱UFJ銀行 神田支店 口座番号 普通預金0138637

口座名義 (2 箇所とも口座名義は共通)

特定非営利活動法人 東京 YWCA ヒューマンサービスサポートセンター



代表理事 遠藤久江

2015 年 8 月 13 日～8 月 19 日まで夏季休暇をいただきます。

急用の方は、NPO 携帯電話までご連絡ください ☎070-5586-8957

編集人

仲眞葉・大庭幸